



北斗句会

十一月定例会（十三日 偕行社）

兼題「紅」「鳥」

五十音順

特は特選 石田きよし選

特 崑崙に流れ入りたる天の川

大崎石州

白鳥の飛来に湖の目覚めけり

太田黒幸風

朝日良し夕陽なほ良し山紅葉

大森康政

特 病む雁の声ならむかな夜半の鐘

竹内雲泉

黒セーター句の胸あるをみなかな

田中資凡

特 すがれ虫振り切るやうに雨戸閉づ

長池豆陽

菩提寺の鷗尾の高さや初時雨

深見十万

存へて忘れ上手や鴈の贅

藤田紀潮

草紅葉蹴散らしゆけば意気弾む

宮下ひかる

庭先に小鳥来るたび凶鑑繰る

森田光彦

松手入れ空に跳ねたる鉄の音

山縣秀雄

チバニアン辿れる径や草紅葉

吉岡誠山



ぬるりつと裸の生るる衣被

石田きよし